

一度社会人になってから再び自分のための勉強を始めた私は、夢を決めることも、その夢に向かってのスタートもかなり遅かったのですが、実現に時間がかかっているかもしれませんが、自分で合った方法で、じっくり納得のいくように一歩一歩進んできたこと、これにはまったく後悔はありません。みなさんも自分のペースで将来の夢を考え、その実現に向かって在学中にいくつかの方法を模索してください。その時間がたつびりとなるのは、今だけなので、そして最後に、これからの様々な出会いを大切にしてください。夢の実現には自分の努力はもちろん、導いてくれる人も多くいるのです。

いくつかの扉

もの取得しました。在学中に結婚し、妊娠。修了式には総代に選んでいただき、事務のみなさんに気を使っていたので臨用でも出席することができました。もちろん、この間会計事務所でも仕事をさせてもらっていました。振り返れば自分でも「よく頑張ったな」と思います。

税理士試験は5科目取得が条件ですが、現在ではあと1科目合格を残すのみとなりました。今は毎日子育てに追われている毎日ですが、そろそろまた勉強を再開し、近年中の資格取得を目指そうと思っています。そして、その後はこの資格を生かして会計事務所に復職する予定です。

将来の自分のために

私は東京の短大を卒業後、地元の上場企業の関連会社で経理や財務の仕事に就いていました。職場では、女性が働くという事に理解ある上司に恵まれ、責任ある仕事をたくさん任されて、毎日が忙しく、充実していました。

それはちょうど、ずっと会計に関する仕事を続けていきたかった、そう思い始めていた頃のことでした。徐々にその職場で会計手法的に高度な仕事を任せられることが増え、トラブルが起きた時にも自分のスキ



YOSHIKI SUZUKI

2005年3月、高崎経済大学経済・経営研究科現代経営ビジネス専攻修了。翌4月に誕生した長女の初めての育児に奮闘中。大学院での研究生生活をとても懐かしんでいる今日この頃。前橋市在住。

私が選んだ「道」

鈴木佳紀

(2005年修了)

女性が働き続けるには

学部在学中は、以前の会社は時間の都合で退職しましたが、少しでも会計の仕事とは触れ合っていたいと思い、講義の合間を縫って会計事務所で働いていました。そんな日々の中で、自分が一生を通してやりがいのある仕事をしていくにはどうしたらいいのか、少しずつ考えていました。女性が仕事を続けていくためには、家庭生活との両立という壁があります。特に出産・子育ては、育児休業に関する法律がある程度整備されたとはいえ、一旦休業して職場をしばらく完全に離れなければなりません。一年近い後に元の職場に復帰することは、残念ながら地方都市ではとても難しいのが現状です。そんな中で「資格」というものが働く女性にとって最大の武器になることは間違いありません。「税理士」という道を指そう、と思ったのはこのためです。

ルのみで対処しなくてはならない場面が多くなりました。そんな時、所詮実務の経験しかない、よい解決方法が思いつかないのです。この問題を克服するには、会計に関する理論的な基礎を習得することが不可欠だと思い、会計学を一から勉強するために社会人入試を受験したことが、本学の出会いでした。

入学してからは、特に英語の授業で苦労しました。あと、体育はやつぱり恥ずかしかったですね。でも、年の離れた友達もたくさんできたし、入学前のいろいろな不安はまったく不要でした。ゼミはもろもろ会計学を選び、すばらしい先生や仲間と巡り合うことができ、充実した4年間でした。

税理士という夢に進むにあたって、どの方法が自分に合っているのか、いくつか考えました。がむしゃらに試験勉強だけをするのは確かに手早い方法ですが、一度社会人になって仕事の楽しさを覚えてしまった私にとって、これは仕事との両立を考えると魅力を感じませんでした。そこで私が選んだのが大学院修士課程への進学です。その理由は、学部の時、テーマに沿って文献を調べ、レポートや論文を書き、苦労して仕上げたものが評価された時の満足感を経験し、この満足感とともに資格を取得したい、そう思ったからです。

経営経営研究科に進学してからは、自分の資格取得を意識して、単位はほとんど会計、税法に関する

各種資格の試験科目と経済学部カリキュラム設置科目の対照表 (本文15~16頁参照)

資格	試験科目	設置科目・重要関連科目名
公認会計士	【短答式】 ①財務会計論(簿記・財務諸表論) ②管理会計論 ③監査論 ④企業法(商法等) 【論文式】 ①会計学(財務会計論・管理会計論) ②監査論 ③企業法(商法等) ④租税法 ⑤経営学、経済学、民法、統計学から1科目選択	企業と会計 会計学 簿記論 財務会計 租税法 連結財務諸表論 管理会計論 財務諸表分析 会計監査論 原価計算論 企業統治論 企業金融論 企業取引法 有価証券法 (以下、[論文式試験]⑤選択科目関連) 経営学総論 経営管理総論 経営戦略論 戦略的経営論 市場と経済 基礎ミクロ経済学 応用ミクロ経済学 基礎マクロ経済学 応用マクロ経済学 経済政策論 財政学 地方財政論 租税法 金融論 国際経済学 現代民法総論 物権法 債権法総論 債権法各論 統計学概論 基礎統計学 統計学 応用統計学
税理士	【会計関係科目】 ①簿記論 ②財務諸表論 【税法関係科目】 ①法人税法 ②所得税法 ③相続税法 ④消費税法または酒税法 ⑤国税徴収法 ⑥住民税または事業税 ⑦固定資産税、以上から3科目選択。ただし①または②のいずれか1科目は必須。	企業と会計 会計学 簿記論 財務会計 租税法 連結財務諸表論 財務諸表分析 財政学 地方財政論 租税法
不動産鑑定士	【短答式】 ①行政法規 ②鑑定理論 【論文式】 ①民法 ②会計学 ③経済学 ④不動産鑑定評価理論	現代民法総論 物権法 債権法総論 債権法各論 市場と経済 基礎ミクロ経済学 応用ミクロ経済学 基礎マクロ経済学 応用マクロ経済学 経済政策論 財政学 金融論 国際経済学 企業と会計 会計学 簿記論 連結財務諸表論 財務諸表分析
中小企業診断士	【1次試験】 ①経済学・経済政策 ②財務・会計 ③企業経営理論 ④運営管理 ⑤経営法務 ⑥経営情報システム ⑦中小企業経営・中小企業政策	市場と経済 基礎ミクロ経済学 応用ミクロ経済学 基礎マクロ経済学 応用マクロ経済学 経済政策論 財政学 金融論 国際経済学 企業と会計 会計学 簿記論 連結財務諸表論 管理会計論 財務諸表分析 経営分析 会計監査論原価計算論 経営学総論 経営学総論 経営管理総論 経営組織論 経営組織各論 企業財務論 企業統治法 企業金融論 企業取引法 有価証券法 イノベーション論 ベンチャービジネス論 経営戦略論 戦略的経営論 経営情報論 経営情報システム論 中小企業論

(注記)
*1 試験制度は変更されることがある。受験資格・試験科目・試験免除等、各種試験制度の詳細については、下記のホームページを参照するなど、各自で確認すること。

- 【公認会計士】 金融庁ホームページ: <http://www.fsa.go.jp/>
日本公認会計士協会ホームページ: <http://www.jicpa.or.jp/>
- 【税理士】 国税庁ホームページ: <http://www.nta.go.jp/category/zeirishi/zeirishi.htm>
日本税理士会連合会ホームページ: <http://www.nichizeiren.or.jp/>
- 【不動産鑑定士】 国土交通省ホームページ: <http://www.mlit.go.jp/kokkasiken/kokkasiken.html>
日本不動産鑑定協会ホームページ: <http://www.fudousan-kanteishi.or.jp/>
- 【中小企業診断士】 中小企業庁ホームページ: <http://www.chusho.meti.go.jp/>
中小企業診断協会ホームページ: <http://www.j-smeca.or.jp/>

*2 設置科目名からは「I・II」の区分を外してある。本文中の科目名も同様である。